

盛岡市自然環境調査実施要領

はじめに

盛岡市は、昭和 46 年に自然環境保全条例を制定し、他市町村に先駆けて自然環境の保全に取り組んできた。また、自然環境分野の施策をより具体化した行動計画として、盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画（以下、「保全計画」という。）を定め各種施策の推進に取り組んできた。この一環として、昭和 48～51 年度、平成 2～6 年度（旧都南村を含む）、平成 14～17 年度、平成 18～23 年度（旧盛岡市域、旧玉山村を含む）の 4 回に亘り市域の自然環境調査を実施し、市の自然環境保全施策の基礎資料としてきた。

この度、令和 9 年度以降の次期盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画や、生物多様性基本法における本市の生物多様性地域戦略策定に資するため、市域における自然環境調査を実施するものである。

1. 業務の目的

令和 8 年度に見直し・策定を行い、令和 9 年度からの次期盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画（生物多様性地域戦略）に資する基礎調査として、盛岡市域における自然環境の現在状況及び、市域を対象に生物全般を網羅的に把握することで生息生物相のリストを作成することを目的とする。

2. 業務の期間及び範囲

令和 5 年度から令和 7 年度の業務範囲について、行政上の区分より生物相としてのまとまりを考慮し、地形や生態的景観（植生）を基盤とした分割案を想定した（図 1）。各年度の範囲は下記のとおりである。

- 1) 令和 5 年度：盛岡市域東部（中津川水系を中心とした姫神山～毛無森間の北上高地側）の調査及び結果とりまとめ
- 2) 令和 6 年度：盛岡市域中央部（北上川本流沿いの平野部。四十四田ダム付近等）の調査及び結果とりまとめ
- 3) 令和 7 年度：盛岡市域西部（御所ダム周辺、雫石川沿い、箱ヶ森、赤林山等の奥羽山脈側）の調査及び結果とりまとめ及び令和 5～7 年度の全調査結果のとりまとめ及び報告書作成

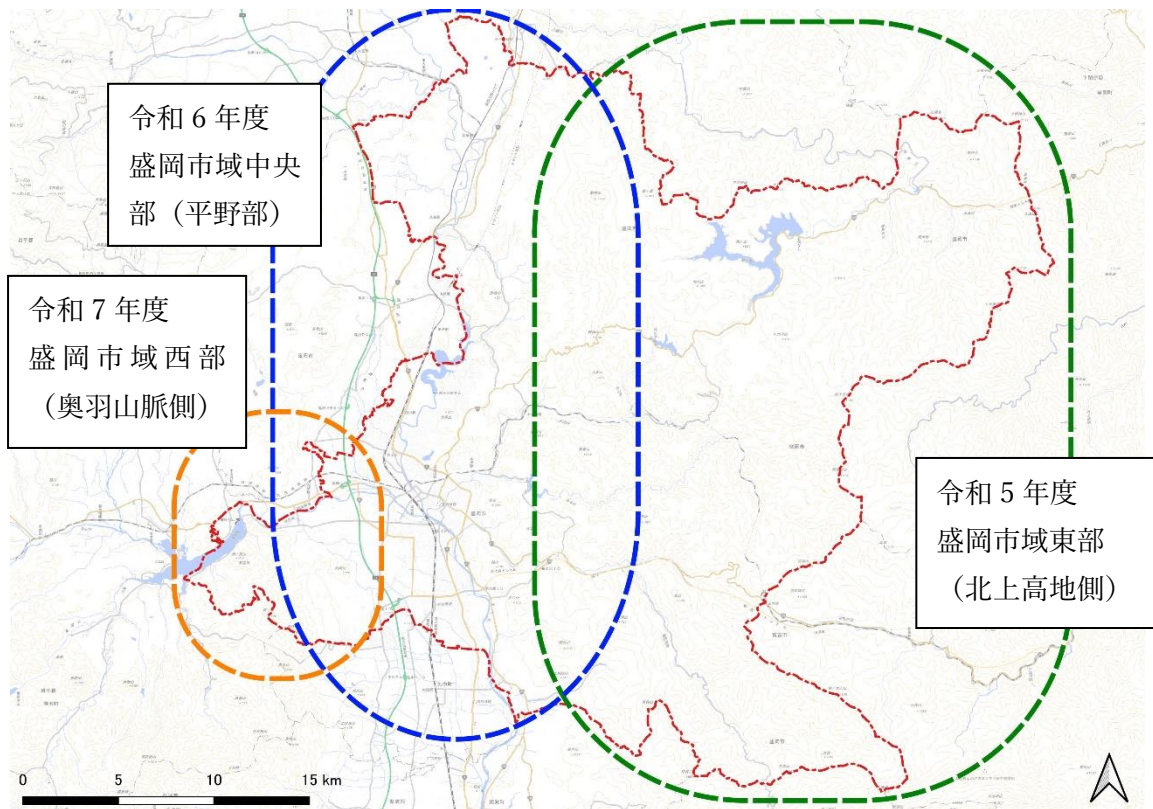


図 1. 各調査年度の区分イメージ

3. 業務項目及び内容

業務項目及び内容は以下のものを想定する。また、業務推進体制案を図2に示す。

1) 生物相調査

- ・調査は動物部門、植物部門、生態的景観（植生）の3部門とする。
- ・生物系専門同好団体や学識経験者に協力を依頼し、専門調査団（仮称）を組織する。
- ・専門調査団（仮称）は植物部門（岩手植物の会、その他学識経験者）及び、動物部門（岩手虫の会、日本野鳥の会もりおか、その他、魚類、底生動物、哺乳類、爬虫類、両生類の学識経験者）で構成する。
- ・専門調査団（仮称）への聞き取りを行い、「優れた自然環境」を主な対象とした現地調査を依頼し、確認された動植物を記録する。
- ・既存の「優れた自然環境」（全77箇所）及び、「身近な自然環境」（約190箇所）を対象に

情報収集を行い、必要に応じて現況把握のための現地調査・聞き取りを行う。特に生物多様性保全のための資料となる重要種（※注）、注目種、及び外来種の生息状況に注意し、確認された動植物を記録する。また、保全計画の「環境保護地区」及び「保護庭園」における現況確認を行う。そのうえで新しく得られた結果や情報を整理し、「優れた自然環境」や「身近な自然環境」の新たな候補とする地点や、既存の自然環境の中から廃止とする地点の有無について検討を行う。

（※注：重要種は環境省及び県によるレッドデータブック及びレッドリスト該当種や国内希少野生動物種、天然記念物等の法的保護の対象を想定。注目種は、重要種に該当しないが、重要種の食草・餌種や環境の指標性が高い種などを想定）

- ・生態的景観の調査として、既存植生図を基に現地調査を補完的に実施して修正を行うことで、植生図（相観図）の作成を行う。

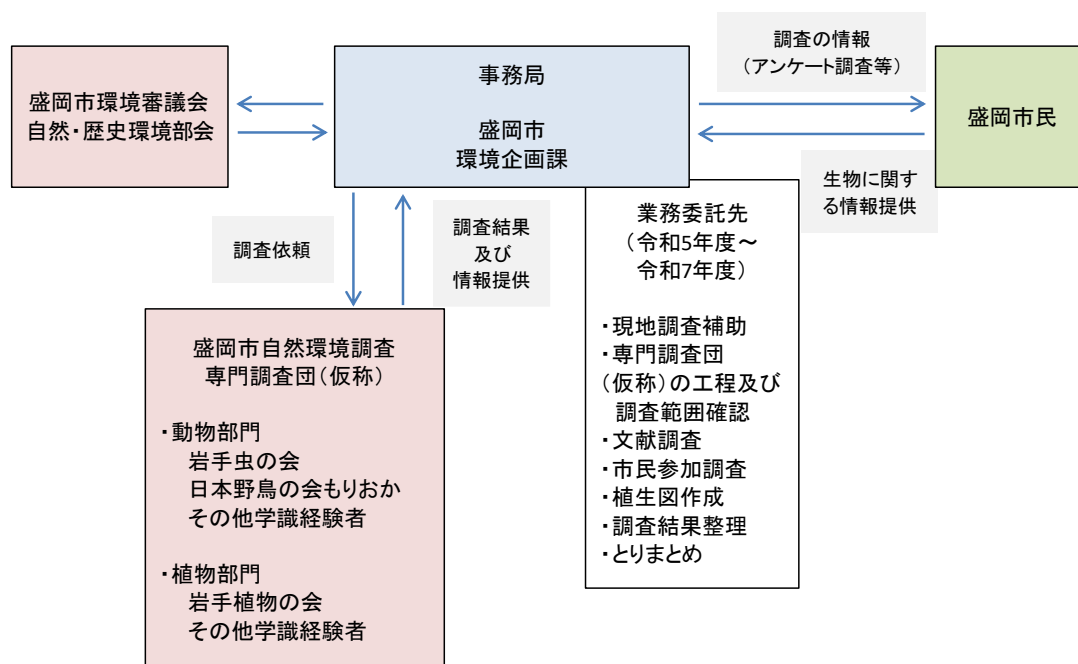


図 2. 業務推進体制の構成イメージ案

2) 文献調査

前回の第4回盛岡市域の調査以降に発行された文献情報を収集し、整理を行う。収集対象は岩手虫の会会報、岩手植物の会会報、日本野鳥の会もりおか支部報、県立博物館出版物、国土交通省河川水辺の国勢調査結果、その他学術誌掲載論文等の資料とする。

3) 市民参加調査

市民参加型の環境調査は、市民が身近な動植物について関心を高めることできることから、調査期間の中で実施することとする。内容については、業務委託事業者との事業の検討のなかで具体的な取組を決定していく（指標種としてホタル、ヒバリ、カッコウ等、外来種としてオオハンゴンソウ、オオキンケイギク等が考えられる）。

各年度の調査内容案

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
生物相調査	北上高地側の調査	平野部の調査 令和5年度の補足調査	奥羽山脈側の調査 令和5～6年度の補足調査 全調査結果とりまとめ
植生調査	北上高地側の調査	平野部の調査	奥羽山脈側の調査 植生図作成（既存図の修正）
文献調査	文献の収集・整理	文献の収集・整理	文献整理結果とりまとめ
市民参加調査	調査の検討、実施	調査の検討、実施	調査の補足 調査内容のとりまとめ

4. 調査結果資料

調査結果資料として令和7年度末に最終的に下記のものを取りまとめる。

- ・調査結果報告書（「優れた自然環境」「身近な自然環境」等の現況確認結果、選定結果、留意点、保全目標及び課題についてのとりまとめ、重要種の分布状況、外来種の分布・生息状況、市民参加調査結果を含む）
- ・盛岡市域生物リスト
- ・植生図（既存の環境省植生図を基に修正を行った相観図）